

雑誌メディアから捉えた 「水都大阪」のイメージの変遷に 関する研究

て、屋根の高では家の真ん中ごろに当る。下の部屋は下屋（したや）といい、昔は
南向いで「したや遊び、した」という建築様式。今はせいぜい物置き。（裏から見

1章 研究の背景及び目的

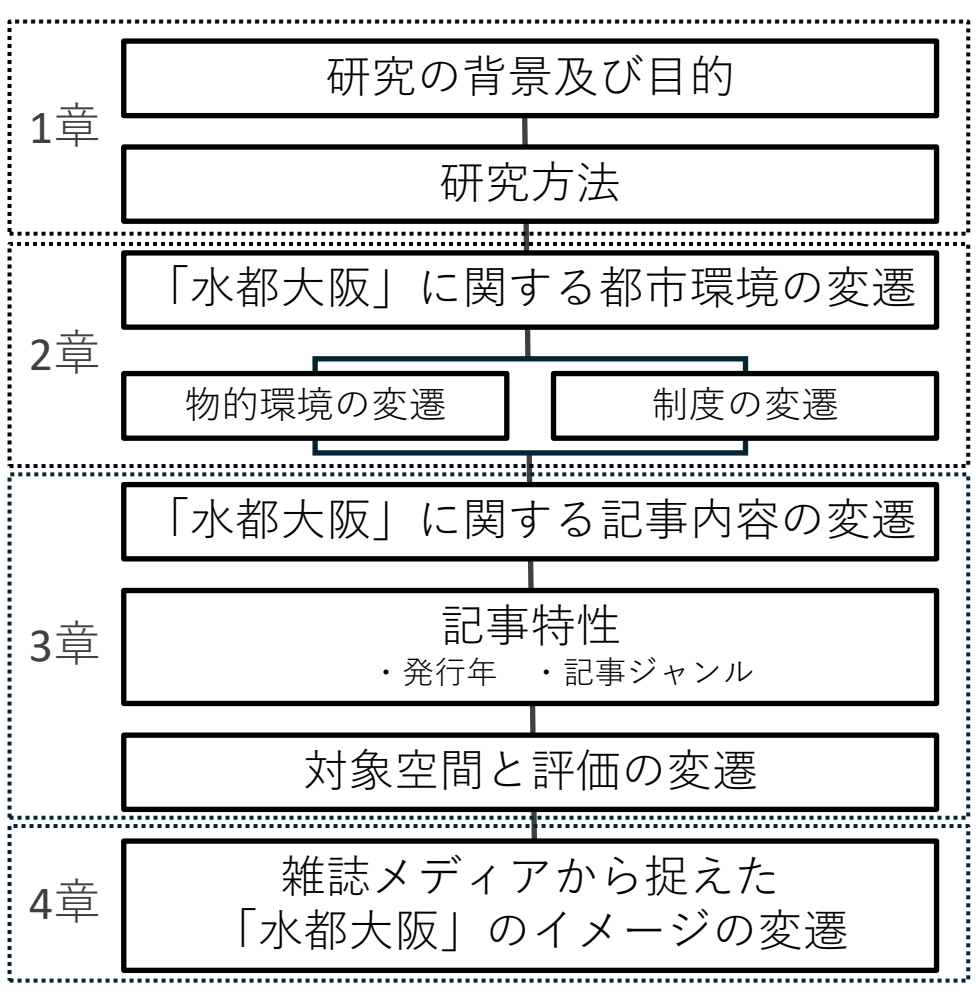
研究背景

- 「水都大阪」は河川や堀川による大阪の美しさや魅力を形容する呼称として用いられてきたが、近年では都市再生のプロジェクトを表現する語としても用いられており、時代とともに人々が持つ水都大阪へのイメージも大きく変化している。
- 時代変遷に応じたイメージを捉えるためのメディアとして、雑誌は時代ごとの大衆性が反映されていると言われている。

研究目的

大阪の都市環境の変化を捉え、雑誌メディアから各年代の人々の関心の対象を読み取ることで「水都大阪」のイメージの変遷を捉える

研究フロー



対象資料

「水都大阪」に関する行政刊行物

- 大阪府・大阪市(1960)「西大阪高潮対策事業誌」
- 大阪市(1958)「大阪市戦災復興誌」
- 大阪市水道局(1995)「市民と共に水道100年」
- 大阪市下水道局(1994)「写真で見る大阪市下水道100年のあゆみ」
- 水都大阪コンソーシアム(2023)「水都大阪の教科書」

調査対象

- **物的環境**
大阪の都市河川とその沿川のハード整備状況
- **制度**
大阪の河川利用に関する制度

→記述を特定し年表に整理

2章 「水都大阪」の都市環境の変遷

	江戸期以前	明治以降近代化期 1868年-	戦後高度経済成長期 1945年-	万博後経済停滞期 1971年-	都市再生期 2001年-
物的環境	1585 東横堀川開削 1598 天満堀川開削 1600 西横堀川・阿波堀川開削 1615 道頓堀川開削 1617 江戸堀川・京町堀川開削 1622 長堀川開削 1624 海部堀川開削 1626 立売堀川開削 1630 薩摩堀川開削 1684 安治川開削 1686 曾根崎川開削 1689 堀江川開削 1733 難波新川開削 1734 高津入堀開削	1869 松島堀割開削 1877 堂島堀割開削 1878 中之島堀割 1910 新淀川開削 1917 桜川埋立 1920 岩崎運河開削 1924 松島堀割等埋立 1929 堂島川可動堰 1931 土佐堀川・道頓堀川可動堰 1935 江戸堀川可動堰 1936 京町堀川可動堰	1950 コンクリート防潮堤築堤 1951 薩摩堀川等埋立 1952 古川埋立 1955 江戸堀川埋立 1956 立売堀川埋立 1957 京町堀川等埋立 1958 難波新川埋立 1963 高津入堀埋立 1964 西横堀川上に阪神高速道路開通 1965 東横堀川上に阪神高速道路開通 1967 堂島堀割埋立	1970 西横堀川埋立 1973 長堀川埋立 1978 東横堀川浄化水門完成	2002 湊町リバープレイス 2004 とんぼりリバーウォーク 2005 若松の浜 2008 ほたるまち八軒家浜船着場 2009 川の駅はちけんや 2010 中之島公園再整備 2013 中之島ラブセントラル 2015 中之島漁港 2020 タグボート大正 2021 β本町橋 他
制度	1649 川筋に関する取締令 1687 川浚役を置く 1754 川筋掟12箇条 1773 川浚冥加金	1877 府令水防規則 1885 府水路取締規則 1896 河川法公布 1921 公有水面埋立法公布			2001 第三次都市再生プロジェクト「水都大阪の再生」開始 2004 河川敷地占用許可準則の特例通達 2012 とんぼりリバーウォーク民間事業者運営開始

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 研究方法

記事特性

調査対象

- Web-OYA bunko :
明治時代から現代まで約1万種類、76万冊の雑誌を所蔵する大宅壮一文庫の雑誌記事検索サイト
- キーワード
「水都__大阪」
「水の都__大阪」
大阪都心部の5河川

→ 239件

調査方法

- 発行年別集計
- 記事ジャンルの特定



3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 研究方法

記事ジャンルの特定

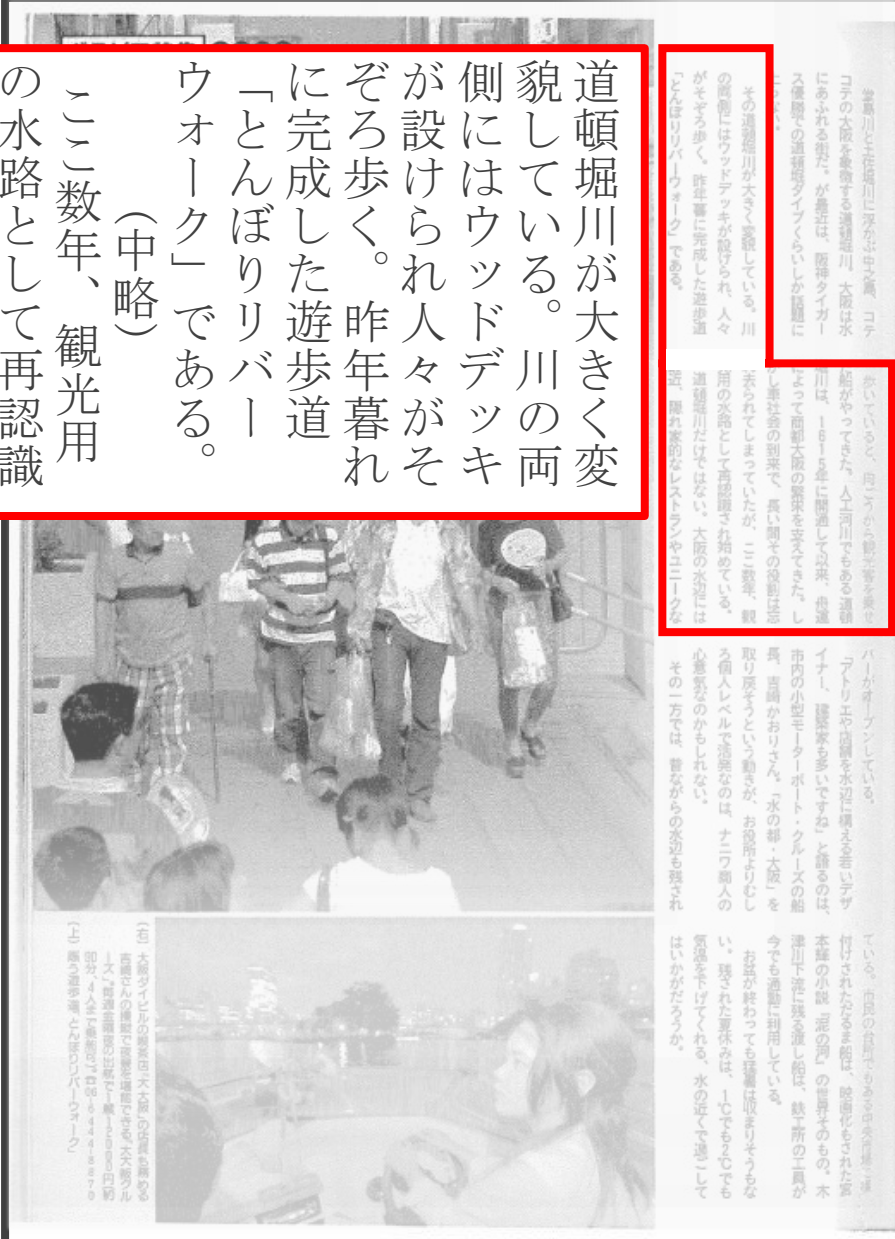
・ 記事を通読

内容：道頓堀川の観光案内
 →記事ジャンル：観光案内

- ・ ニュース
- ・ 解説
- ・ 観光案内
- ・ ルポルタージュ
- ・ インタビュー
- ・ 対談
- ・ 作品評
- ・ エッセイ

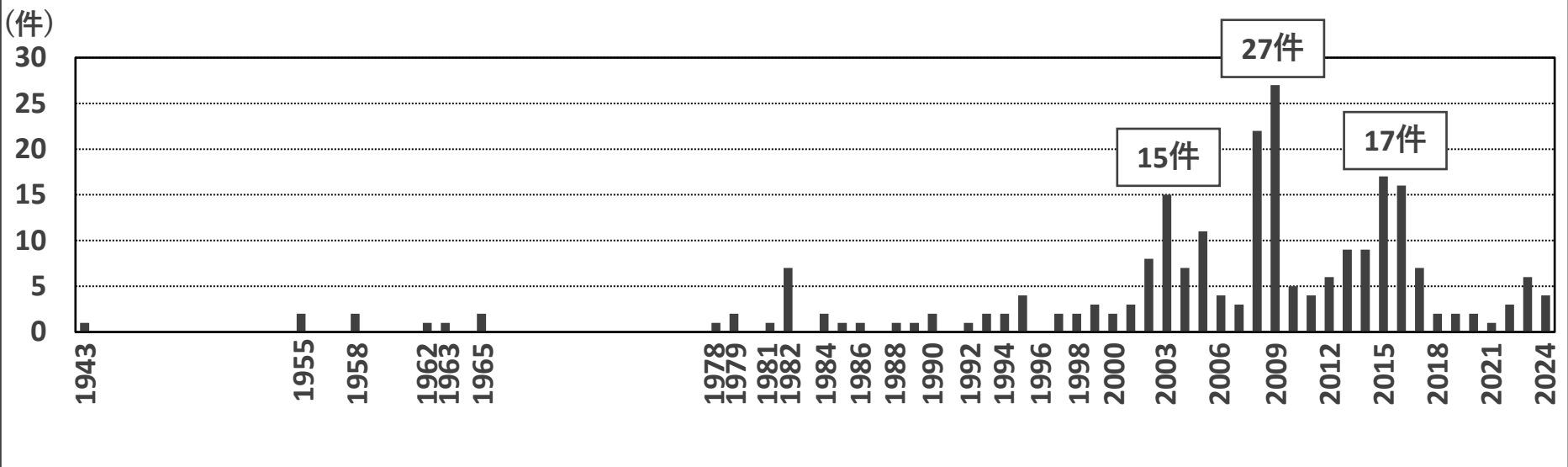
に分類

道頓堀川が大きく変貌している。川の両側にはウッドデッキが設けられ人々がぞろぞろ歩く。昨年暮れに完成した遊歩道「とんぼりリバーウォーク」である。
 (中略)
 ここ数年、観光用の水路として再認識され始めている。

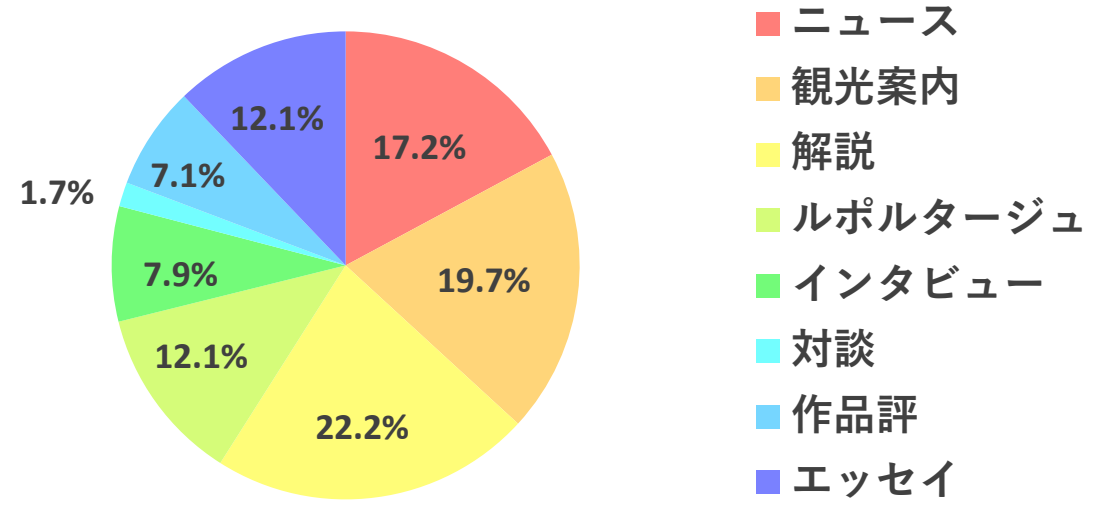


3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 記事特性 結果

発行年別集計



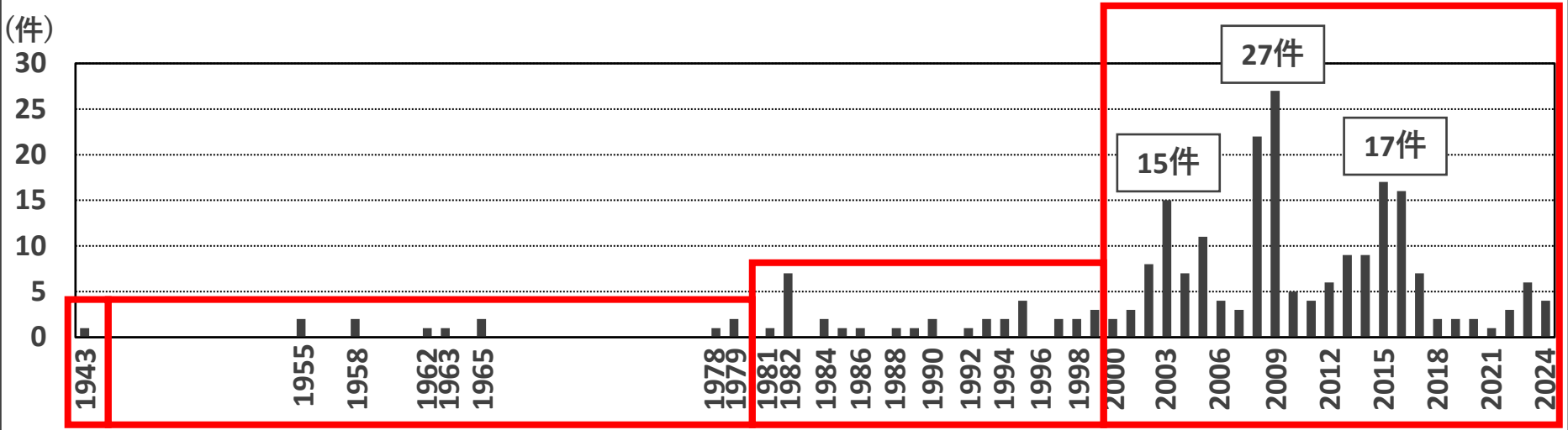
記事ジャンル別割合



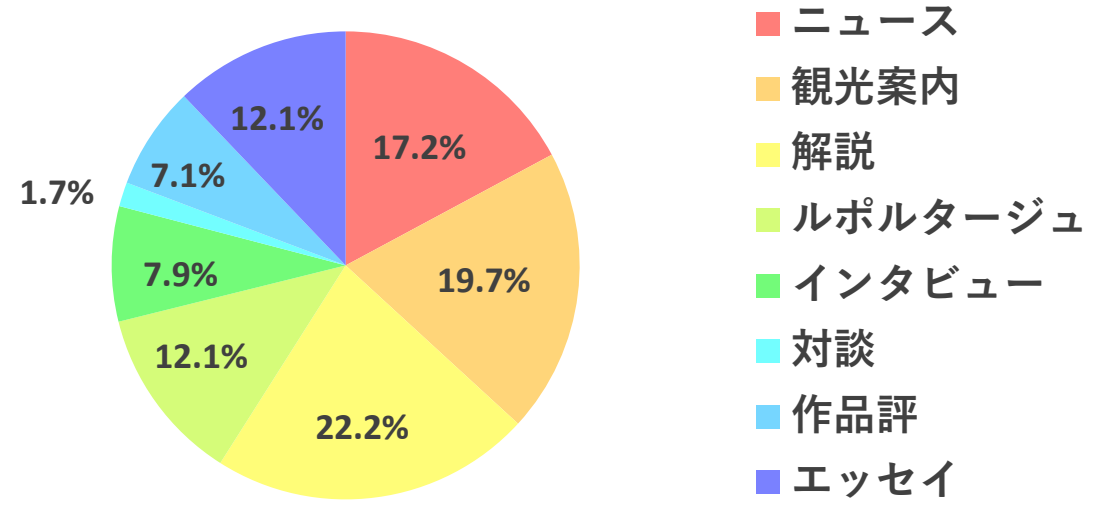
- ニュース
- 観光案内
- 解説
- ルポルタージュ
- インタビュー
- 対談
- 作品評
- エッセイ

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 記事特性 結果

発行年別集計



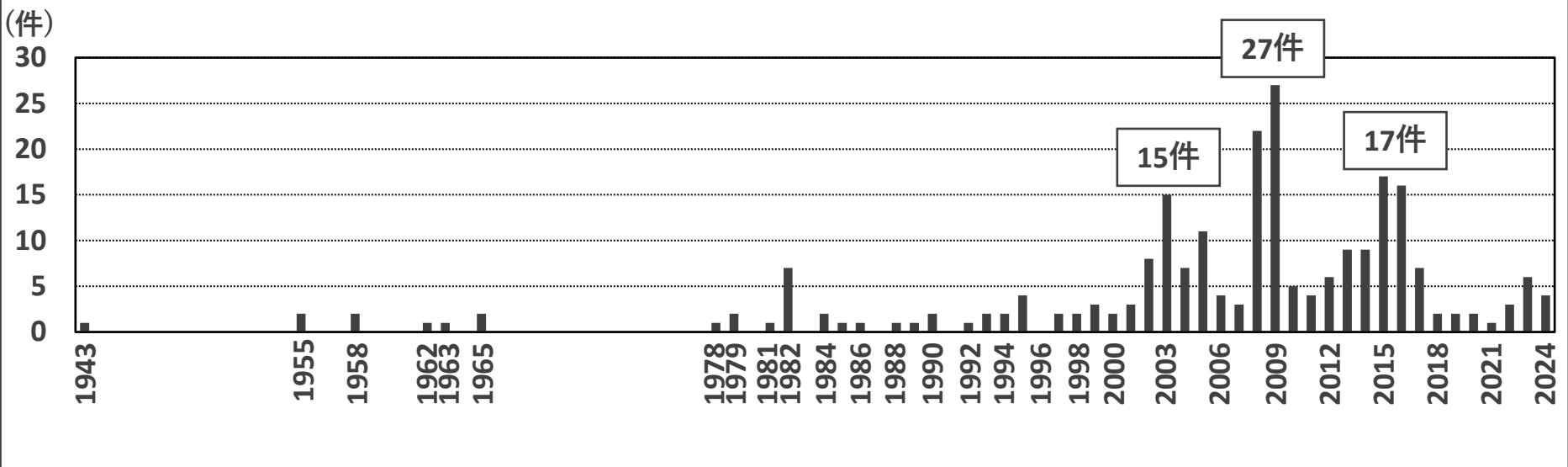
記事ジャンル別割合



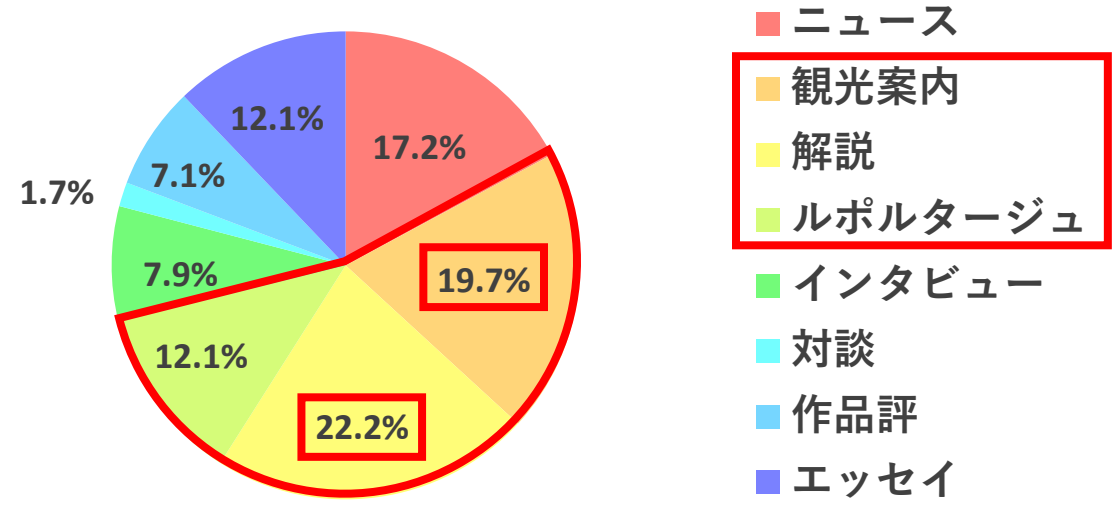
- ニュース
- 観光案内
- 解説
- ルポルタージュ
- インタビュー
- 対談
- 作品評
- エッセイ

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 記事特性 結果

発行年別集計



記事ジャンル別割合



3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 研究方法

対象空間と評価の変遷

対象空間の特定

- 主空間：記事の中心的な空間
- 関連空間：主空間以外の空間

対象空間の分類

- 面空間：面的な広がりを持つ空間
- 線空間：河川や道路などの線的空間
- 点空間：建築などの点的空間

評価の特定

- 主空間の価値や印象が読み取れる記述から評価を特定

時制の特定

- 対象空間の時制を記事内容から特定



3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 研究方法

対象空間と評価の変遷

対象空間の特定

- 主空間：記事の中心的な空間
- 関連空間：主空間以外の空間

対象空間の分類

- 面空間：面的な広がりを持つ空間
- 線空間：河川や道路などの線的空間
- 点空間：建築などの点的空間

評価の特定

- 主空間の価値や印象が読み取れる記述から評価を特定

時制の特定

- 対象空間の時制を記事内容から特定



道頓堀川が大きく変貌している。川の両側にはウツドデッキが設けられ人々がそぞろ歩く。昨年暮れに完成した遊歩道

評価：観光用の水路

「ここ数年、観光用の水路として再認識され始めている。」

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 研究方法

対象空間と評価の変遷

対象空間の特定

- 主空間：記事の中心的な空間
- 関連空間：主空間以外の空間

対象空間の分類

- 面空間：面的な広がりを持つ空間
- 線空間：河川や道路などの線的空間
- 点空間：建築などの点的空間

評価の特定

- 主空間の価値や印象が読み取れる記述から評価を特定

時制の特定

- 対象空間の時制を記事内容から特定



「グラビア特集」

その道頓川が大きく変貌している。川の両側にはウッドデッキが設けられ、人々がそぞろ歩く。昨年暮れ「どんぱりパワウォーク」である。

道頓堀川が大きく変貌している。川の両側にはウッドデッキが設けられ、人々がそぞろ歩く。昨年暮れ「どんぱりパワウォーク」である。

かつては、向こう側の船客を乗せる船がやっていた。△河川でもある道頓堀川は、1915年に開通して以来、船運もよつと大阪大阪の繁栄を支えてきた。しかし、船の来り去り、長い間その役割は果たされてしまっていたが、ここ数年、川の両側として再整備され始めている。道頓堀川だけでは、大阪の水辺には、空いたままのスペースやユニークな空間が、いくつかある。

道頓堀川が大きく変貌している。川の両側にはウッドデッキが設けられ人々がそぞろ歩く。昨年暮れ

現在の話題
↓時制・発行年
(2005)

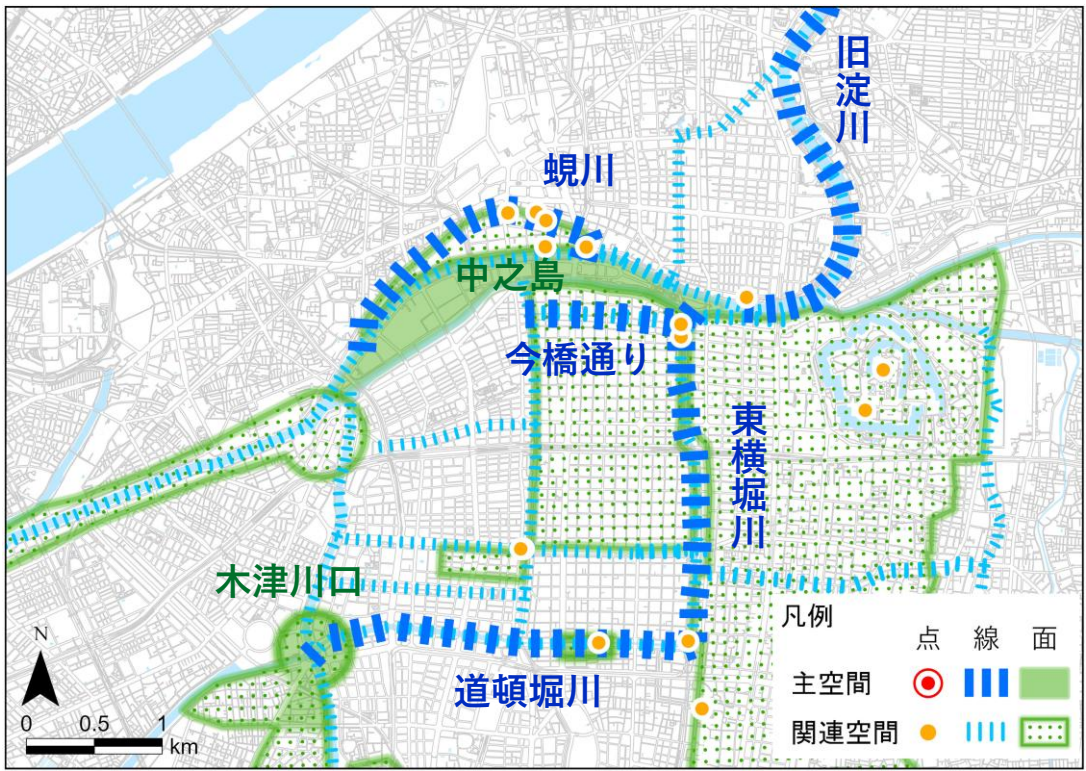
「ここ」数年、観光用の水路として再認識され始めている。

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都黎明期(江戸期以前)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	13	22	35
線	9	28	37
点	0	19	19
計	22	69	91



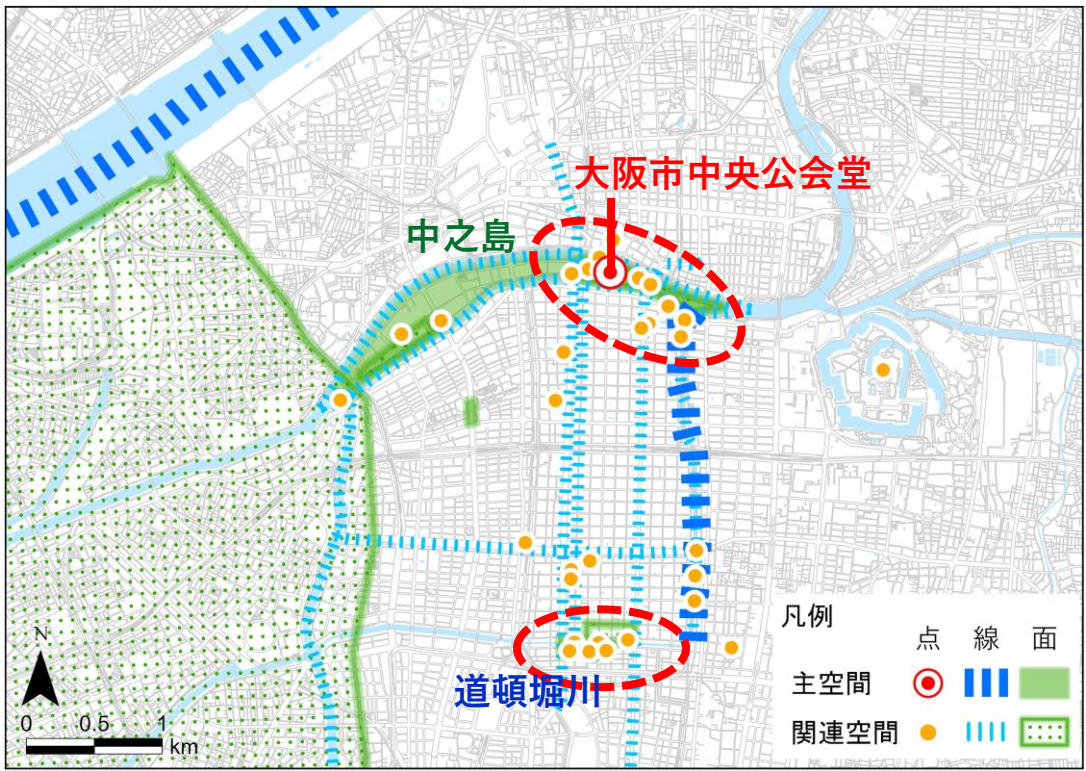
主空間	印象・価値に関する記述	評価
線:旧淀川	江戸時代、淀川は京都と大阪を結ぶ重要な交通路であった。三十石船をはじめ各種の川船が往来し、多くのモノと人と文化が行き交った。	交通の要衝
面:中之島	江戸時代、一帯には各藩の蔵屋敷が立ち並び、対岸の堂島では米市場で活発な取引が行われた。	商業の中心地
面:中之島	軒を連ねる問屋、(中略)川面を往来する上荷船や茶船。(中略)生業が描写され水都に生きる人々の心意気のようなものまで感じられる	暮らしの場
線：道頓堀川	慶長17年(1612年)成安道頓が秀吉の許可を得て、(中略)私財を投じて東横堀川と木津川の間二十町余り(約二八二メートル)を掘り始めた。	町普請

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都発展期(明治以降近代化期)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	5	11	16
線	5	12	17
点	1	50	51
計	11	73	84



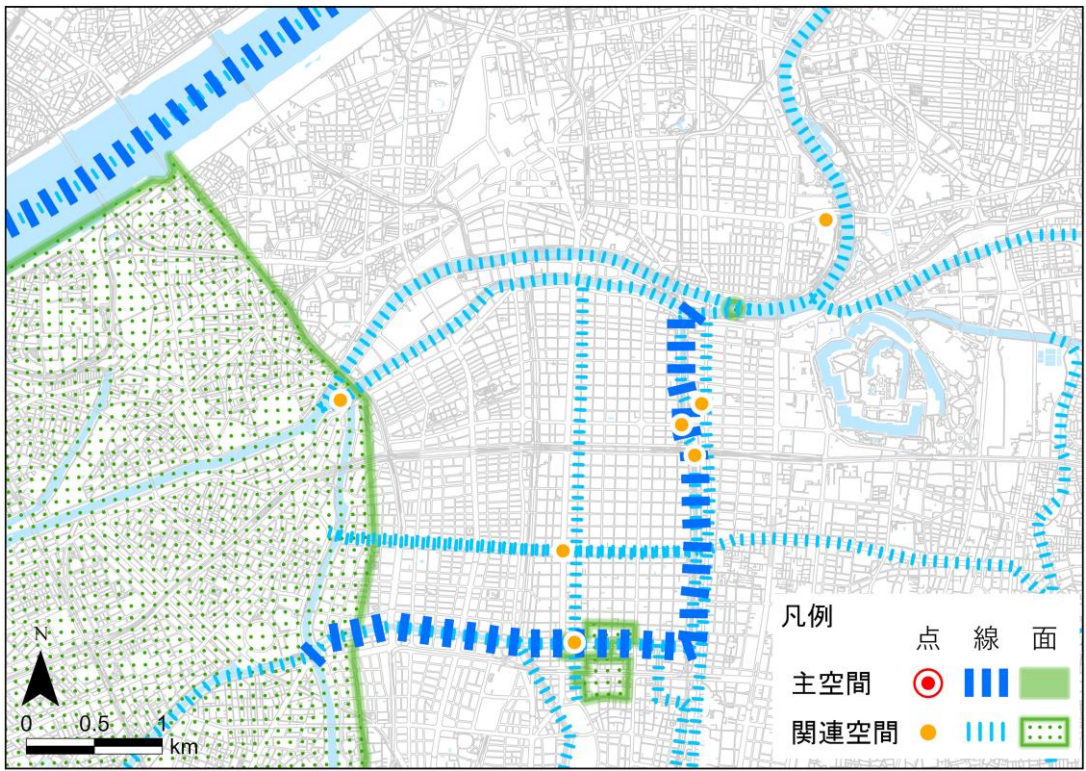
主空間	印象・価値に関する記述	評価
面：大阪全体	大大阪時代は「水都の建築」「商都の成熟した建築」という大阪の建築の個性を見出した時代と捉えることができるだろう。	建築の個性
点：中央公会堂	大正七年十一月十七日に落成した。北浜の風雲児といわれた株式仲買人・岩本栄之助が、私財百万円を提供することによって完成をみたものである。	民による公共施設の整備
面：中之島(東部)	時は明治。大阪は新たな時代に対応した都市の近代化に乗り出していた。その一つが文化交流拠点としての中之島。	文化交流拠点
面:中之島	中之島の東部は公園、中央部の東は官庁街、(中略)この地域は近代工業の発祥地といえることができる。	多様な機能の集積

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都衰退期(戦後高度経済成長期)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	3	10	13
線	7	19	26
点	0	10	10
計	10	39	49



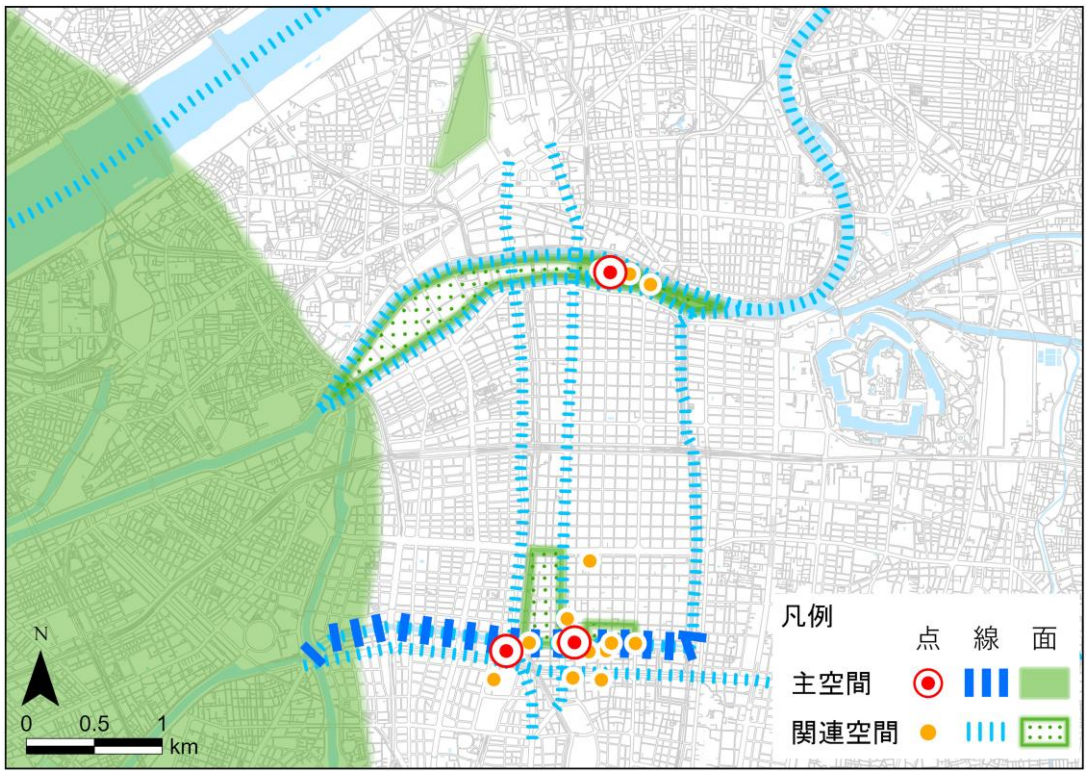
主空間	印象・価値に関する記述	評価
面：大阪全体	白亜の高層ビルが清新な都市美を構成して川面に反映させている。	都市美
面：大阪全体	水の都の大阪も近頃はドブの都へ一歩手前だ。	水質の悪化
線：道頓堀川	ワシは川岸の人の利益を守るための発言権が欲しいのや。(中略)川が公共のために使われている間はそれでええのや。	民間人による公益性の主張

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都準備期(万博後経済停滞期)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	3	5	8
線	1	14	15
点	5	27	32
計	9	46	55



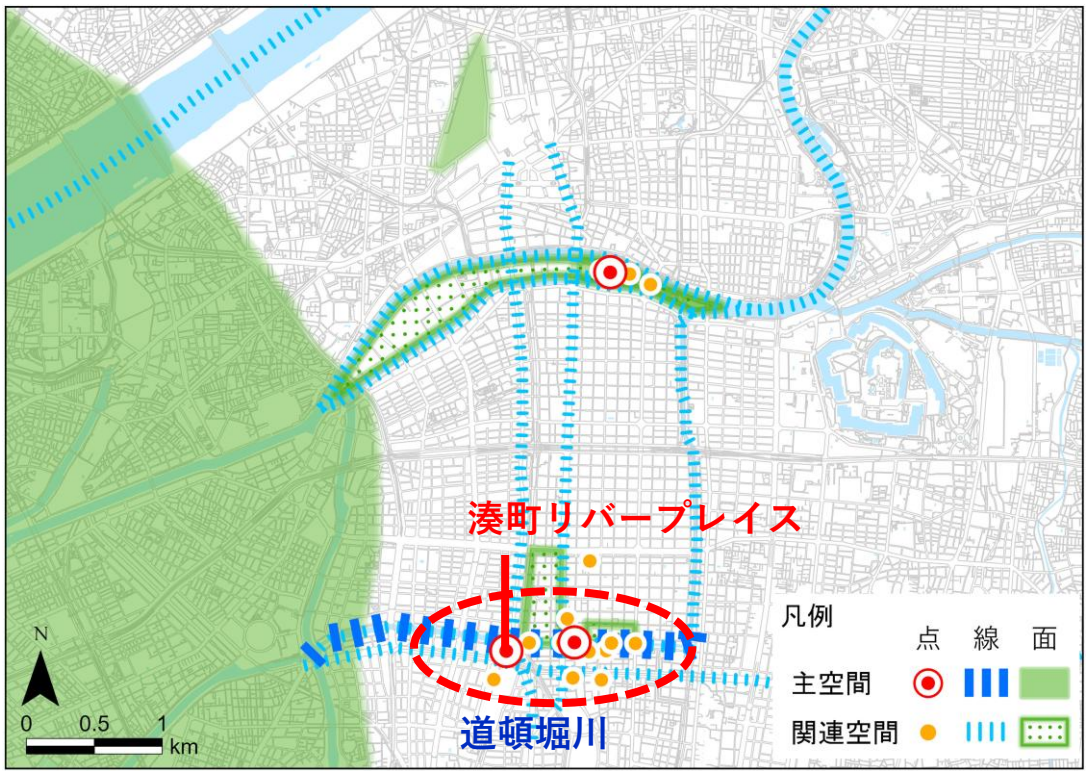
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点：湊町リバープレイス	道頓堀川と立体広場と音楽ホールは連携しており、大阪の新名所として若者を中心に活況を呼ぶだろう。	若者の新名所
面：梅田貨物駅跡地	「新淀川から水をひいて堂島川へ流すようにして水遊びができる小川を公園内にめぐらし、淀川に住むフナなどを飼おう」(中略)水都大阪の再生だ。	民の意気込み
点：大阪市営渡船場	目の前に大阪湾が広がり、塩の香りと高い波のうねりが気分を盛り上げてくれる。	水上交通の楽しみ
点：中央公会堂	情熱的で人格者であった栄之助の熱い思いが大阪のシンボルを煌めかせ続けている	象徴性

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都準備期(万博後経済停滞期)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	3	5	8
線	1	14	15
点	5	27	32
計	9	46	55



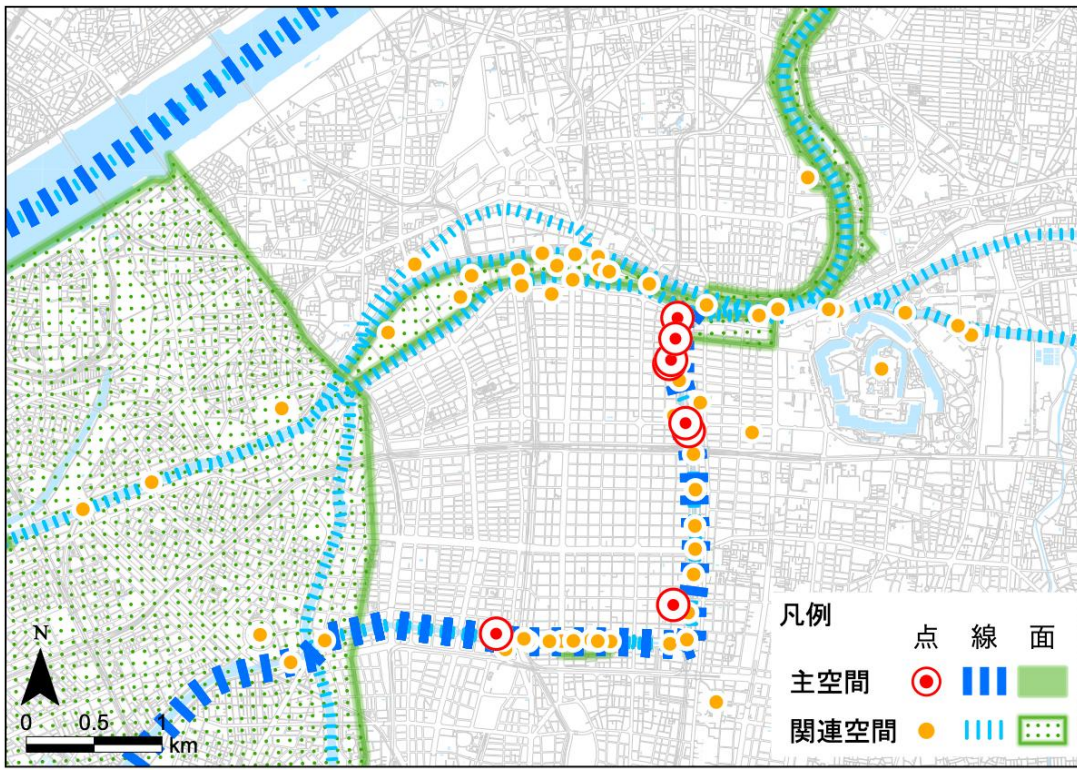
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点：湊町リバープレイス	道頓堀川と立体広場と音楽ホールは連携しており、大阪の新名所として若者を中心に活況を呼ぶだろう。	若者の新名所
面：梅田貨物駅跡地	「新淀川から水をひいて堂島川へ流すようにして水遊びができる小川を公園内にめぐらし、淀川に住むフナなどを飼おう」(中略)水都大阪の再生だ。	民の意気込み
点：大阪市営渡船場	目の前に大阪湾が広がり、塩の香りと高い波のうねりが気分を盛り上げてくれる。	水上交通の楽しみ
点：中央公会堂	情熱的で人格者であった栄之助の熱い思いが大阪のシンボルを煌めかせ続けている	象徴性

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都再生期(都市再生期2001年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	12	15	27
線	12	47	59
点	8	103	111
計	32	165	197



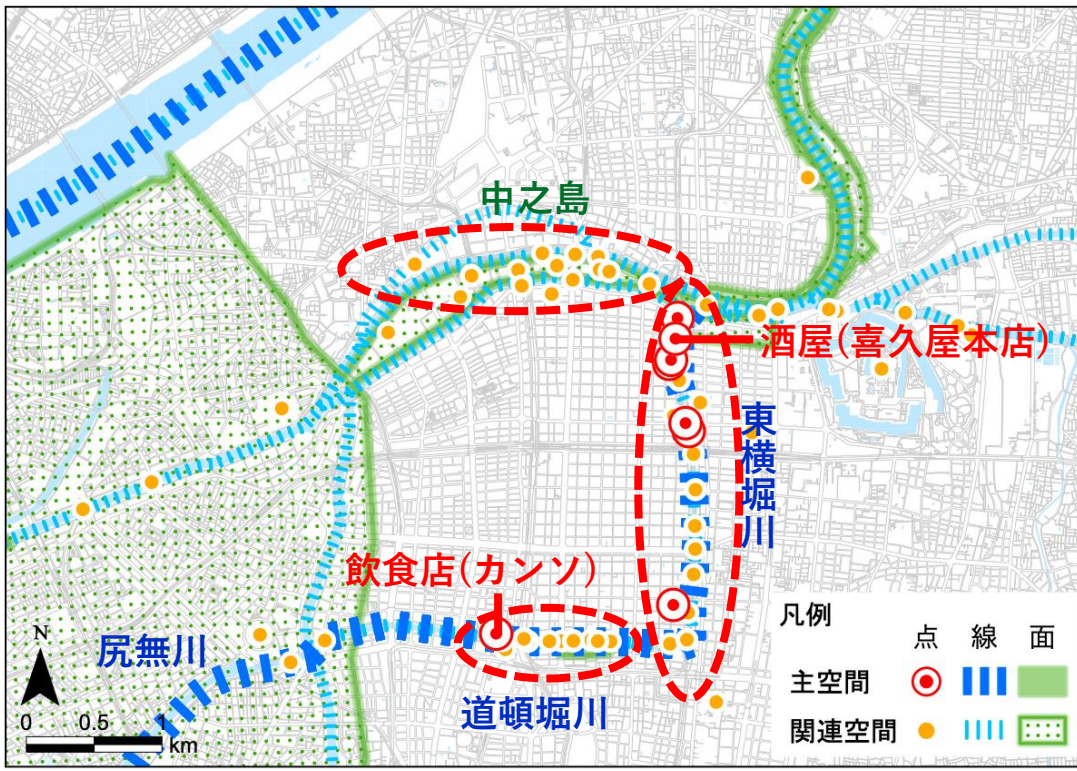
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点:飲食店	何の店かわからない心が魅力	遊び心
点:酒屋	船場にひしめくオフィスビルやタワーマンションに負けない威容を誇る	威容
線: 尻無川沿い	川に囲まれた水の街。その尻無川沿いのある一帯に小さな街のような店の集まりが出現。『戦争で焼かれないで残っていたこの水辺エリアをもう一度蘇らせよう』SUNSET2117のオーナーを中心に本気の動きが、	民による取り組み
面: 大阪全体	都市という空間を水辺という場所が変えていくという中谷氏の言葉が、がぜん説得力をもって感じられる。	都市を変える力

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都再生期(都市再生期2001年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	12	15	27
線	12	47	59
点	8	103	111
計	32	165	197



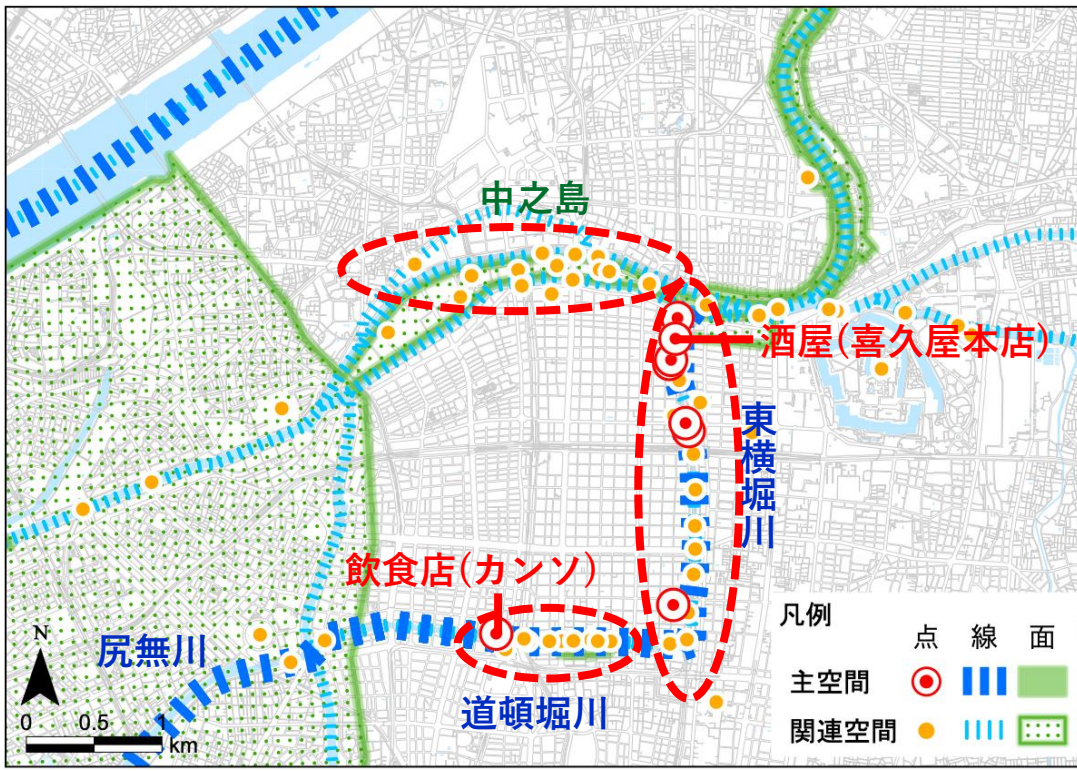
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点:飲食店	何の店かわからない心が魅力	遊び心
点:酒屋	船場にひしめくオフィスビルやタワーマンションに負けない威容を誇る	威容
線: 尻無川沿い	川に囲まれた水の街。その尻無川沿いのある一帯に小さな街のような店の集まりが出現。『戦争で焼かれないで残っていたこの水辺エリアをもう一度蘇らせよう』SUNSET2117のオーナーを中心に本気の動きが、	民による取り組み
面: 大阪全体	都市という空間を水辺という場所が変えていくという中谷氏の言葉が、がぜん説得力をもって感じられる。	都市を変える力

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都再生期(都市再生期2001年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	12	15	27
線	12	47	59
点	8	103	111
計	32	165	197



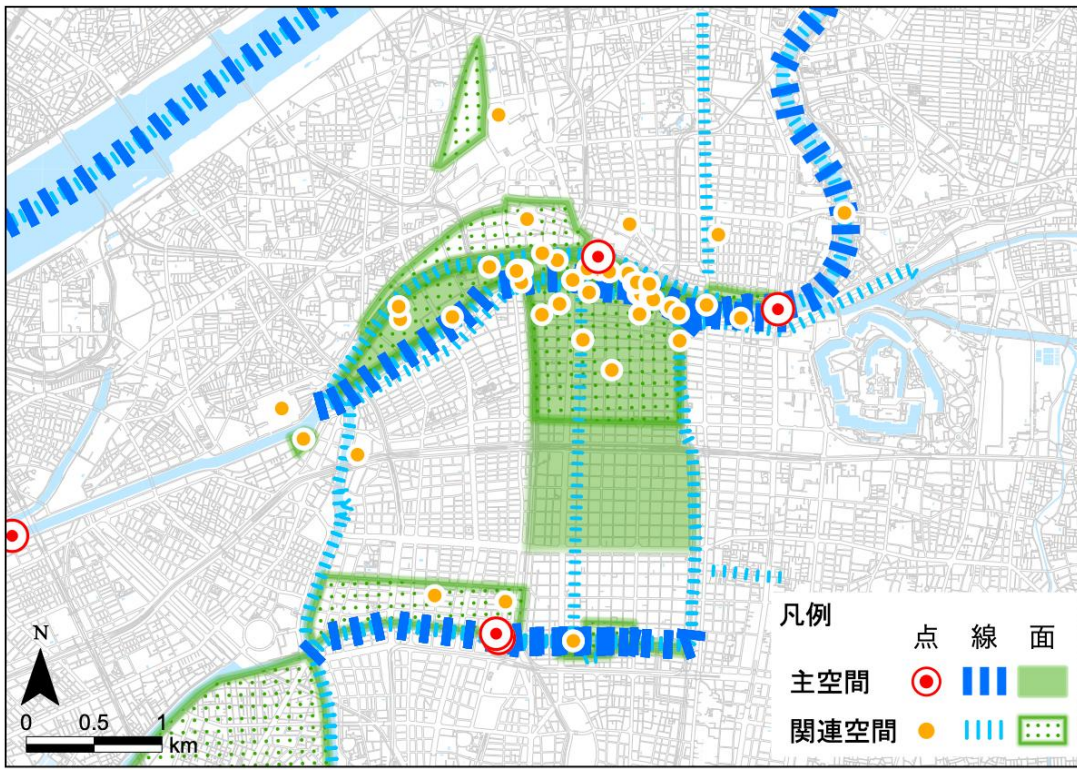
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点:飲食店	何の店かわからない心が魅力	遊び心
点:酒屋	船場にひしめくオフィスビルやタワーマンションに負けない威容を誇る	威容
線: 尻無川沿い	川に囲まれた水の街。その尻無川沿いのある一帯に小さな街のような店の集まりが出現。『戦争で焼かれないで残っていたこの水辺エリアをもう一度蘇らせよう』SUNSET2117のオーナーを中心に本気の動きが、	民による取り組み
面: 大阪全体	都市という空間を水辺という場所が変えていくという中谷氏の言葉が、がぜん説得力をもって感じられる。	都市を変える力

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都展開期(都市再生期2009年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	38	35	73
線	10	47	57
点	9	82	91
計	57	164	221



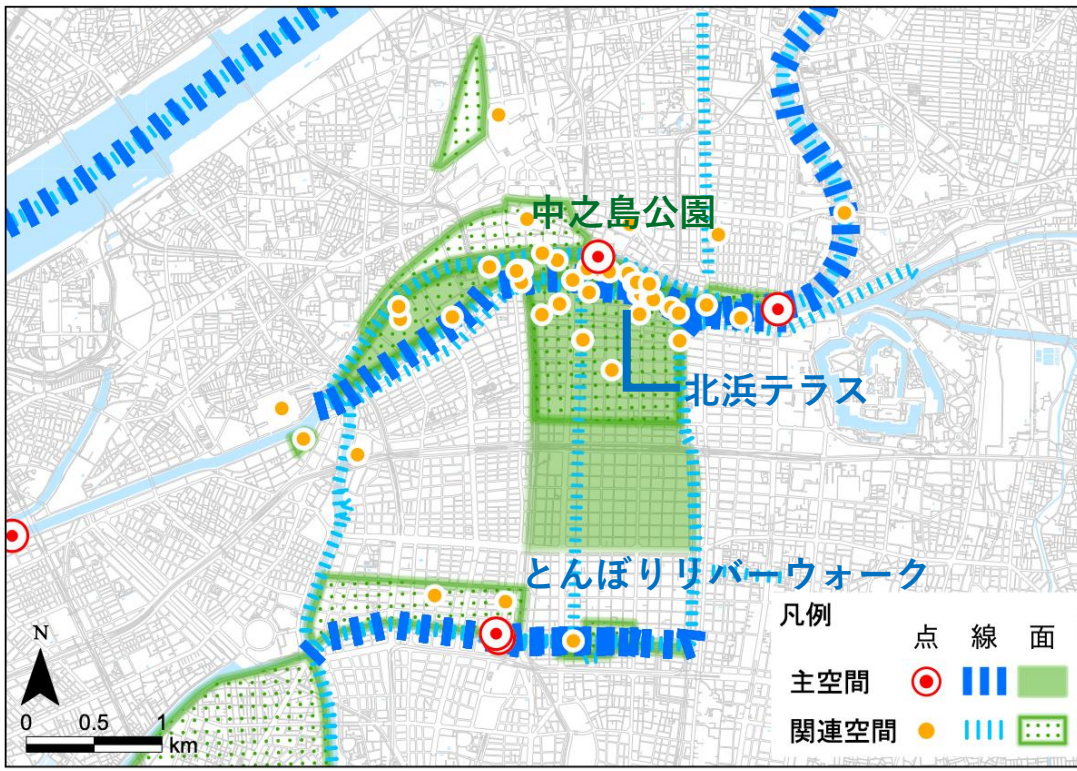
主空間	印象・価値に関する記述	評価
線：とんぼり リバーウォーク	道頓堀川の遊歩道に提灯がともる。風情ある川沿いを歩こう。	風情
線：北浜 テラス	大阪の日常に華やぎを添える新名所。	華やかさ
面：大阪全体	100万人以上が訪れた水の祭典がついにフィナーレ！(中略)ライトアップなどメイン会場以外のスポットにも足を運んでみて	イベントの 賑わい
面：中之島 公園	会場はミナミの繁華街とは異なる都会のオアシスのような空間。川とビルが織りなす調和がとれた景観が新鮮。	都会のオアシス

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都展開期(都市再生期2009年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	38	35	73
線	10	47	57
点	9	82	91
計	57	164	221



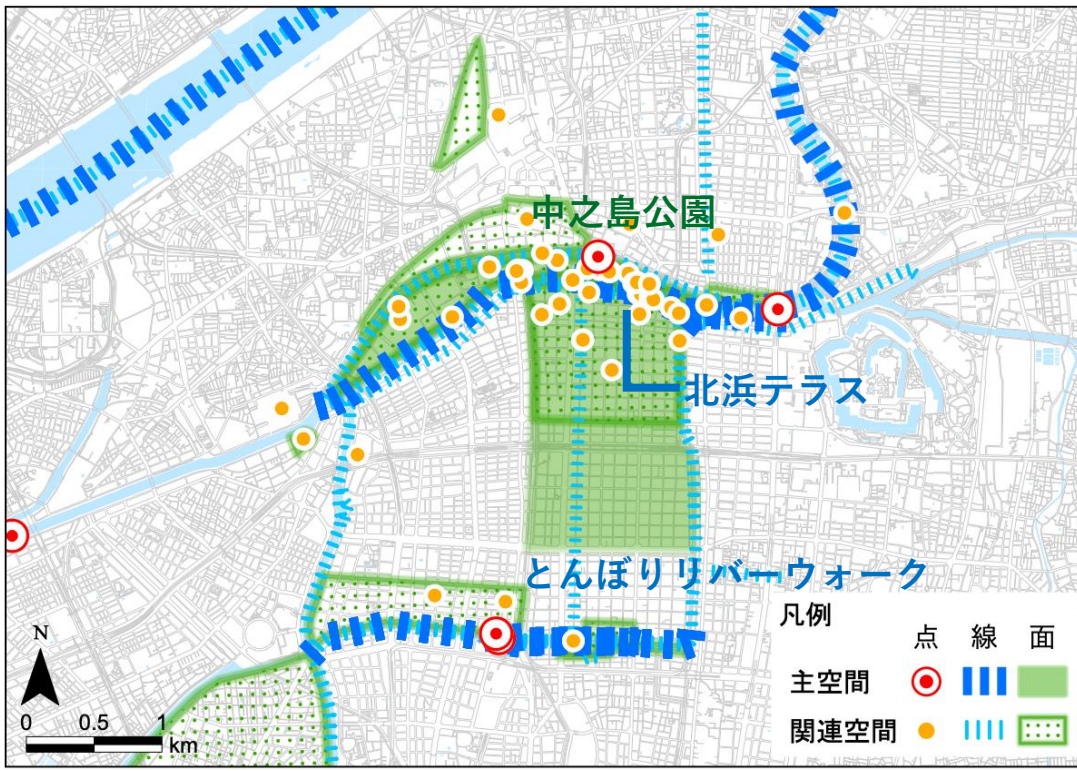
主空間	印象・価値に関する記述	評価
線：とんぼりリバーウォーク	道頓堀川の遊歩道に提灯がともる。風情ある川沿いを歩こう。	風情
線：北浜テラス	大阪の日常に華やぎを添える新名所。	華やかさ
面：大阪全体	100万人以上が訪れた水の祭典がついにフィナーレ！(中略)ライトアップなどメイン会場以外のスポットにも足を運んでみて	イベントの賑わい
面：中之島公園	会場はミナミの繁華街とは異なる都会のオアシスのような空間。川とビルが織りなす調和がとれた景観が新鮮。	都会のオアシス

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都展開期(都市再生期2009年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	38	35	73
線	10	47	57
点	9	82	91
計	57	164	221



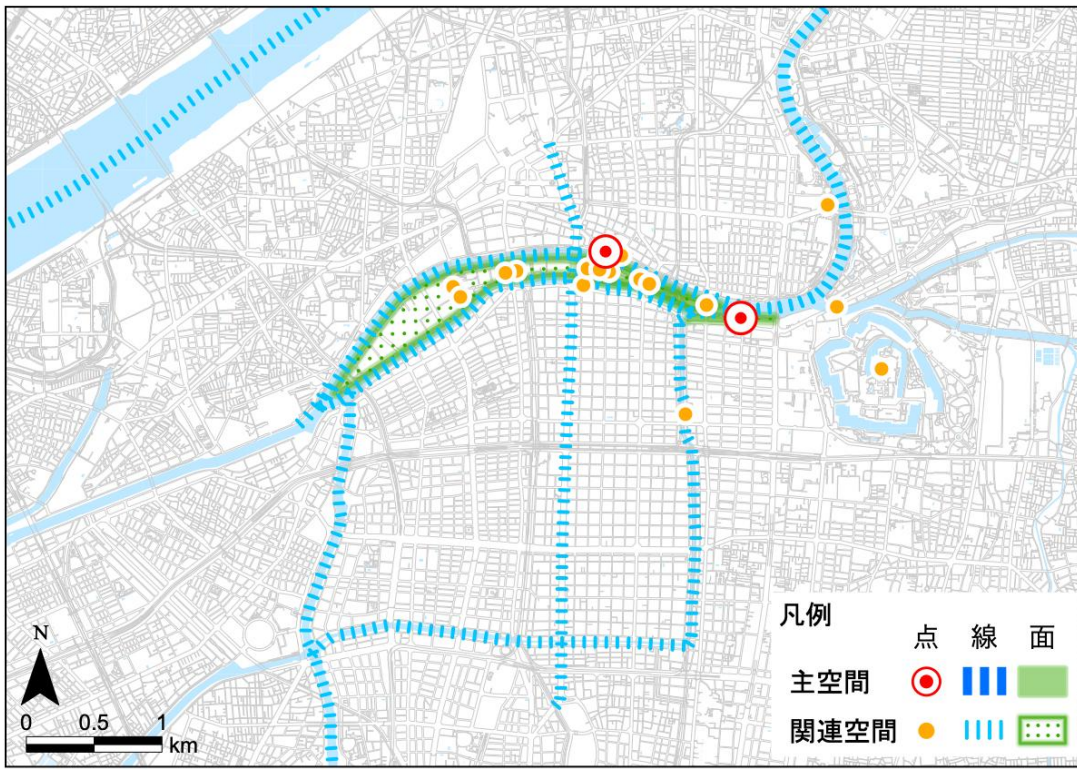
主空間	印象・価値に関する記述	評価
線：とんぼりリバーウォーク	道頓堀川の遊歩道に提灯がともる。風情ある川沿いを歩こう。	風情
線：北浜テラス	大阪の日常に華やぎを添える新名所。	華やかさ
面：大阪全体	100万人以上が訪れた水の祭典がついにフィナーレ！(中略)ライトアップなどメイン会場以外のスポットにも足を運んでみて	イベントの賑わい
面：中之島公園	会場はミナミの繁華街とは異なる都会のオアシスのような空間。川とビルが織りなす調和がとれた景観が新鮮。	都会のオアシス

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都維持期(都市再生期2017年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	5	4	9
線	0	9	9
点	2	22	24
計	7	35	42



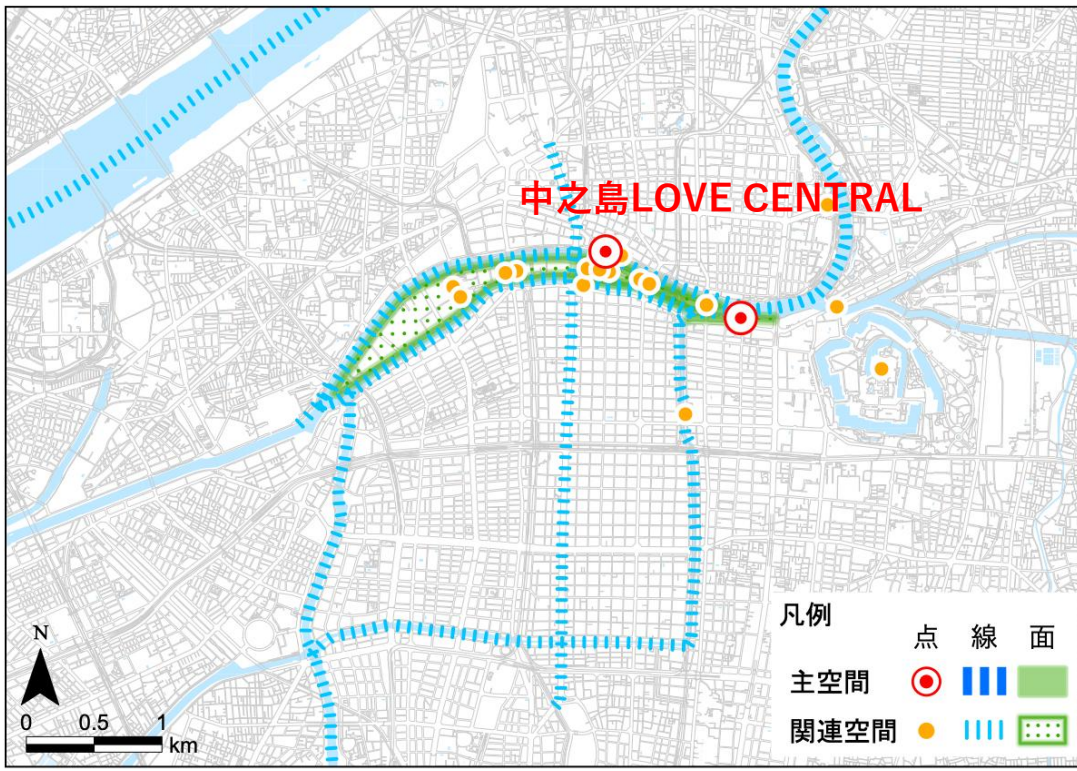
主空間	印象・価値に関する記述	評価
点:中之島 LOVE CENTRAL	同施設は(中略)水運・水辺の街である大阪をモチーフに中之島周辺エリアを憩いの場として再活性化するもの。	憩いの場
点:川の駅 はちけんや	癒しと迫力と新発見連続の大阪の旅に二人とも大興奮です！	魅力発見の 楽しみ
面：中之島	水都大阪の象徴中之島界限には明治から昭和初期にかけての建築が多く残りモダニズムが開いた大大阪時代の記憶をとどめています。(中略) 発展を続けるこの街は来年美術館のオープンも控え期待が高まります	象徴性

3章 「水都大阪」に関する記事内容の変遷 対象空間と評価の変遷 結果

水都維持期(都市再生期2017年-)

対象空間(件)

	主	関連	計
面	5	4	9
線	0	9	9
点	2	22	24
計	7	35	42



主空間	印象・価値に関する記述	評価
点:中之島 LOVE CENTRAL	同施設は(中略)水運・水辺の街である大阪をモチーフに中之島周辺エリアを憩いの場として再活性化するもの。	憩いの場
点:川の駅 はちけんや	癒しと迫力と新発見連続の大阪の旅に二人とも大興奮です！	魅力発見の 楽しみ
面：中之島	水都大阪の象徴中之島界限には明治から昭和初期にかけての建築が多く残りモダニズムが開花した大大阪時代の記憶をとどめています。(中略) 発展を続けるこの街は来年美術館のオープンも控え期待が高まります	象徴性

まとめ：「水都大阪」のイメージの変遷

	水都黎明期	水都発展期	水都衰退期	水都準備期	水都再生期	水都展開期	水都維持期
機能	商業の中心地 面：中之島	文化交流拠点 面：中之島		若者の新名所 点：湊町リバー プレイス	都市を変える力 面：大阪	技術力 点：天満橋	
	交通の要衝 線：旧淀川	多様な機能の集積 面：中之島			観光用の水路 線：道頓堀川		
個性		建築の個性 面：大阪		象徴性 点：大阪市中央 公会堂	威容 点：喜久屋本店	象徴性 点：安治川水門	象徴性 面：中之島
					遊び心 点：カンソ		
体験	暮らしの場 面：大阪	暮らしの場 線：東横堀川		水上交通の 楽しみ 点：木津川渡船 場		都会のオアシス 面：中之島公園	魅力発見の楽しみ 面：大阪
						イベントの賑わい 面：大阪	憩いの場 点：中之島LOVE CENTRAL
感覚			都市美 面：大阪			華やかさ 線：北浜テラス	
			水質の悪化 面：大阪			美しさ 点：毛馬閘門	
主体	町普請 線：道頓堀川	民による公共 施設の整備 点：大阪市中央 公会堂	民による 公益性の主張 線：道頓堀川	民の意気込み 面：梅田貨物駅 跡地	民による取り組み 線：尻無川沿い	民による 取り組み 面：大阪	
					協働による 取り組み 面：大阪		